

市民の皆様のご大切な税金を有効に使うために…

事業評価の対象事業をお知らせします

Q 議会で行う事業評価ってなに？

A 市役所が前年度に行った事業が、半田市民のために役に立ったのか、有効性、妥当性、効率性の観点で議会が評価し、その評価結果を翌年度の予算編成へ活かしていただくよう市長に対し、要望します。このくり返しにより「無駄」をチェックすることができます。

多くの施策の中から特に重要な施策を常任委員会分科会ごとに選定し、以下の10施策が対象となりました。

※2月1日号市議会だよりにて評価結果を公表します。

	個別施策名	施策内容
総務委員会	自治区の組織力強化	<ul style="list-style-type: none"> 地域への関心を深め、住民相互の連帯感を醸成するため、コミュニティ活動を支え、地域自治の基本組織である自治区への加入促進に努めます。 各自治区の情報や抱える課題の共有を図るとともに、自治区のあり方の検討を進めます。
	人材の確保（半田病院）	<ul style="list-style-type: none"> 充実した診療体制と7対1看護体制の維持を図るとともに、災害拠点病院（地域中核災害医療センター）、地域周産期母子医療センターとしての機能を果たすため、医師、看護師などの医療従事者を確保します。 医師、看護師の業務負担を軽減し、職務に専念できる体制づくりを進めます。
	長期的かつ安定的な財源の確保	<ul style="list-style-type: none"> まちの活性化促進による財源確保に努めます。 財源の根幹である税収入の安定確保のため、適正な課税と収納率の向上に努めます。 財政状況を考慮するなか、財政調整基金などの長期的財源となる基金への積立てを実施します。 安定財源の確保のため、新たな財源の開拓に努める一方、国に対して、地方の役割分担に見合った財源確保が図れる税制への改革を求めています。
文教厚生委員会	ひとり親家庭への支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> 子育て・生活、就業、経済的支援など総合的な自立支援策の推進を図ります。 ひとり親家庭等の医療費助成により、安心して医療機関に受診できるよう努めます。
	生活習慣病等予防の推進	<ul style="list-style-type: none"> 年に1回の健康診断を勧めるとともに、健康相談や健康教育等の実施により生活習慣病やその他の疾病予防に努めます。 がん検診を充実し、がんの早期発見・早期治療を図ります。
	地域課題の学習及び交流の場としての活用	<ul style="list-style-type: none"> 地域の歴史や課題への関心を高め、地域活動を促進するため、地域課題をテーマとした講座・講演会を開催します。 各公民館で地域住民の交流を目的としたふれあい事業の充実を図ります。
建設産業委員会	3Rの普及・啓発	<ul style="list-style-type: none"> 環境への負荷低減と天然資源の消費節減を図るため、ごみの発生・排出抑制（リデュース）、製品等の再使用（リユース）、資源の再生利用（リサイクル）の3Rの普及・啓発を図ります。
	3R活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> 生ごみの水切り、堆肥化容器・処理機の利用、マイバッグ・マイ箸・マイボトルの活用等を奨励し、家庭ごみの排出抑制を図ります。 事業系一般廃棄物の実態把握と分別指導を行い、減量化を図ります。 廃食用油・ペットボトルキャップの拠点回収や容器包装回収品目の拡大を図ります。 各自治区・子ども会等の地域集団資源回収を奨励し、地域が主役の3R活動を推進します。 ごみ出しに関する案内冊子の配布や、ごみ減量等推進員の活動を通じてごみ分別の徹底を図ります。
	廃棄物の適正処理	<ul style="list-style-type: none"> ごみの減量化・資源化等を進めて一般廃棄物最終処分場の延命化を図ります。 産業廃棄物の適正処理について、関係機関と連携して指導監視に努めるとともに不法投棄の未然防止に努めます。 生し尿及び浄化槽汚泥は、中部知多衛生組合で適切に処理します。
	老朽化建築物・空き家の適正管理の促進	<ul style="list-style-type: none"> 老朽化した建物の倒壊を防ぐため、建て替え・取壊し、空き家の適正管理を促進します。